

愛・地球博 国際シンポジウム

「持続可能な開発」の媒介者たち

2005年9月19（月）・20日（火） 於 愛知県立大学講堂

主催：愛知万博フランス共和国陳列区域政府代表部

共催：国立民族学博物館 地域研究企画交流センター

愛知県立大学

協力：日仏会館

同時通訳あり（日・英・仏）

入場無料／事前登録をお願いします（定員900名）

申込締め切り：9月15日（木）

ファクスでの申込：06-6878-8353

ハガキでの申込：〒565-8511 吹田市千里万博公園10-1 地域研究企画交流センター 宛

いずれも入場希望日、お名前、住所、電話番号、年齢、ご職業を記入下さい。ご入場いただけない場合のみ折り返しご連絡します。

お問い合わせ tel：06-6878-8343 jcas2005@idc.minpaku.ac.jp

プログラム

9月19日(月)

9:15 ～ 受付

10:00 閉会

開会の辞

神田真秋 (愛知県知事)

パー・バッケン (UNEP国連環境計画技術・産業・経済局次長兼国際環境技術センター
所長代理)

10:40 ～ 12:40 第1部 公共政策と持続可能な開発

司会：出口正之（国立民族学博物館教授）

開会スピーチ — 「環境を国内政策の協議事項に加える」

カレド・アル・エラニ（ヨルダン 環境大臣）

発表

ベドリッヒ・モルダン（プラハ・カレル大学教授、チェコ共和国）

「国際環境に役立つ科学」

エドウィン・ザッカイ（ブリュッセル自由大学教授 ICEAT、ベルギー）

「新しい学術分野としての持続可能な開発」

藤田忠夫（宇部市長）

「持続可能な開発の媒介者としての市長の役割」

ミカエル・デクレリス（最高行政裁判所元副長官・エコロジーおよび持続可能な開発議会議長、ギリシャ）

「正義と持続可能な開発」

閉会スピーチ — 「国際的課題としての持続可能な開発の推進」

ミッシェル・バルニエ（前外務・元環境大臣、フランス）

*** ディスカッションおよび参加者との討議（12:40-13:00） ***

14:30 ~ 17:05 第2部 経済的および人的発展の要因としての持続性を促進する

司会：立本成文（中部大学教授）

開会スピーチ — 「持続可能な開発に出資する」

アブデラティフ・ベナシュヌ（元財務大臣・アルジェリア）

発表

ドミンゴ・ヒメネス-ベルトラン（持続可能観測所所長 / 欧州環境庁元長官、スペイン）

「持続可能な開発のための情報システムの構築」

マイク・ロングハースト（マッキャン・エリクソン上席副社長、英国）

「広告と持続可能な開発」

ジャン=ピエール・ブラン（カフェ・マロンゴ会長、フランス）

「開発のための公正な取引」

トニー・ウィラー（ロンリープラネット創設者、オーストラリア）

「持続可能な観光に向けて」

アグス・サリ（ペランギ取締役、インドネシア）

「国際交渉における正当性の擁護」

閉会スピーチ — （演題未定）

ロランス・テュビアナ（IDDRI持続可能開発および国際関係研究所所長、フランス）

*** ディスカッションおよび参加者との討議（17:05-17:40） ***

9月20日（火）

8:30 ～ 受付

9:20 ～ 9:40 基調演説 — 江崎玲於奈（ノーベル物理学賞受賞者・（財）茨城県科学技術振興財団理事長） （演題未定）

9:45 ～ 12:15 第3部 持続可能な開発の社会文化的アプローチに向けて

司会：西川恵（毎日新聞）

開会スピーチ — 「持続可能な開発と精神性」

ソティリオス韓国大司教（韓国）

発表

ヨランダ・カカバドス（IUCN国際自然保護連合元会長、エクアドル）

「持続可能な開発についての国際的議論におけるNGOの役割」

ヴァンセンテ・ロスセルタレス（BIE国際博覧会協会事務局長）

「万博：持続可能な開発への関心を喚起する手段」

ヒューバート・ザウパー（作家・映画監督、オーストリア）

「持続可能な開発のための映画」

ホアン・ブスケス（バルセロナ・カタロニア都市計画家、スペイン）

「持続可能な都市のための計画」

シェリ・リャオ（ジャーナリスト・北京地球村代表、中国）

「メディアと世論の自覚」

閉会スピーチ — 池澤夏樹（作家） （演題未定）

*** ディスカッションおよび参加者との討議（12:15-12:35） ***

12:40 ～ 13:00 閉会

司会：岡島成行（大妻女子大学教授）

開会の辞 —

小池百合子（環境大臣）*予定

ウー・ジャンミン（BIE 国際博覧会協会会長）